



令和7年二十歳のつどい

未来への希望を胸に二十歳の門出



華

やかな振り袖や真新しいスーツに身を包み、旧友との再会を

喜び合う若者たち。

令和7年「二十歳のつどい」が1月12日に八日市場ドームを会場に開催され、平成16年4月2日・17年4月1日生まれの市内在住者・出身者310人が自らの門出を祝福しました。

式典は、今年度20歳になる対象者自身により組織される実行委員会により執り行われ、実行委員長の林理瑚さんの開式の言葉でスタート。司会の上代新流さんと土佐美優さんにより厳粛に進行されました。実行委員会の代表者3人による意見発表では、二十歳の門出を迎えての力強い決意と、これまで支えてくれた人への感謝の言葉が述べられました。閉式後、会場の外には神輿と囃子連が駆け付け、式典参加者で神輿を担ぎ、「あんりやあどしたー」の掛け声とともに周囲を盛り上げました。

二十歳を迎えるとともに新たなスタート地点に立った式典の参加者たち。この日の思い出と未来への希望を胸に新たな道のりを歩み始めました。

代表意見発表

二十歳のつどい参加者を代表して、佐藤大和さん、栗栖ほのかさん、土屋悠雅さんの3人が登壇し、二十歳の節目を迎えての決意などを述べました。発言内容の一部を紹介します。



佐藤大和さん
(八日市場第二中出身)

大学で法学を学んでみるとさまざまな問題が可視化され、自分の未熟さを実感しました。また都内に通学することで自然豊かな地元の良いさを再認識したため、大学を卒業後は地域の活性化に貢献することを目標としながら日々努力を重ねています。

大人としてのビジョンを明確に持ち、豊富な知識と行動力を持った社会人となることを誓います。





1 2 3 7 9 10 11 12 13 15 16

17 18 19 晴れの日を迎えた二十歳のつどい参加者たち。旧友との再会に笑顔を輝かせた

4 式典の受け付けを担当した実行委員会役員（野栄中学校卒） 5 謝辞を述べる塚本有美乃さん（八日市場第一中学校卒） 6 ピアノ伴奏の中川愛梨さん（八日市場第二中学校卒） 8 実行委員を務めた23人と来賓の皆さん 14 式典後に神輿を担ぐ二十歳のつどい参加者たち

この場を借りて家族に感謝の気持ちを伝えたいと思います。20年間自分のことを育ててくれてありがとうございます。立派な大人になります。いろいろな家庭があると思いますが、一人ひとり家族に感謝することがあることと思います。今日、家に帰ったら育ててきてくれた方々に少しでもいいので感謝の言葉を伝えましょう。



土屋 悠雅さん
（野栄中出身）

将来、患者さんが抱える薬剤に関する悩みを解消し、健康をサポートできる薬剤師を目指して、日々勉強や資格取得に取り組んでいます。また薬剤師の役割も日々変化しているため、最新情報を追い求めることを大切にしています。この先私たちは一人ひとり異なった道を進みます。どんな時も諦めず、努力を続けるとともに成人としての責任を果たし、誠実な人生を歩むことを誓います。



栗栖 ほのかさん
（八日市場第二中出身）